



News Release

2021年3月12日

各 位

会 社 名 アジアパイルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 黒瀬 晃
(コード番号 5288 東証第一部)
問合せ先 広報担当 道券 宏之
(TEL 03-5843-4173)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 87,000	百万円 4,200	百万円 3,800	百万円 2,350	円 銭 61.70
今回修正予想 (B)	86,000	3,400	3,200	2,500	65.64
増減額 (B-A)	△ 1,000	△ 800	△ 600	150	-
増減率 (%)	△ 1.1	△ 19.0	△ 15.8	6.4	-
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	93,175	5,076	4,596	2,712	71.20

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症の影響により、コンクリートパイルの需要が減少し、競争が激化したことから利益率が低下、これにより営業利益及び経常利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

また、ミャンマーの事業子会社 VJP Co., Ltd. について、新型コロナウイルス感染症の深刻な状況と、2021年2月1日に発生したミャンマー国軍によるクーデターに伴う混乱により、当面の事業活動が不透明となったことから、保有する固定資産に対して評価の見直しを実施し、2021年3月期連結決算において8億円見当の減損損失を計上する見込みになりました。これにより連結業績における親会社株主に帰属する当期純利益は、出資比率相

当の約 5 億円が減少する見込みになりました。

さらに、シントク工業株式会社の株式取得に伴う負ののれん発生益については、これまで暫定的な会計処理として第 3 四半期において 7 億 72 百万円計上しておりましたが、2021 年 3 月期連結決算において 10 億 50 百万円見当の負ののれん発生益を計上(当第 3 四半期比で約 2 億 80 百万円の増加)する見込みになりました。

経常利益の減少と、前回発表予想には織り込んでおりませんでした上記の特別損益により、今回修正予想の親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想対比 1 億 50 百万円増加して、約 25 億円になる見込みです。

以 上